

水産業を核とした  
多様な地域活動を実践



昭和62年に第一次産業（水産業）に従事する女性達の集いとして結成以来、地元地域での漁業継承やPR活動をはじめ、栄養改善・環境保全・男女共同活動・コミュニティ活動など多くの分野で地域に根ざした草の根的活動を続けている。

漁業従事者数の減少傾向の中にあつて、漁業に従事する男性達を陰で支える、幅広く地道な活動は広く内外において称えるべき活動である。

笠岡市大島漁業協同組合女性部



生涯スポーツの振興に貢献  
原田 武俊 さん  
（笠岡）

昭和21年から49年間の長きにわたり教職に就かれるとともに、昭和28年から平成18年まで笠岡市体育協会の役員として、特に平成8年から会長を務められた。また、昭和56年から25年間にわたり笠岡市体育指導委員協議会の会長も務められ、笠岡市の社会教育の推進を担う両組織のリーダーとして、生涯スポーツの普及と振興、後輩指導者の育成、市民の体力の向上並びに健康の増進に大きく貢献された。

また、平成17年に開催された「晴れの国おかやま国体」では、笠岡市実行委員会副会長として競技式典など大会主要行事の実施に尽力され、全国から集う選手や笠岡市民に大きな感動と喜びを与えた。

おめでとうございませす

笠岡市は、毎年文化の日という佳き日に、産業、文化教育及び社会福祉事業などあらゆる分野において多大なご貢献を賜り、ご功績を挙げられました方々を表彰申し上げます。

本年は、四名と一団体の皆様を表彰申し上げます。ここに深く敬意と感謝の意を表する次第であります。

受賞者の皆様のさらなるご活躍とご多幸をお祈りいたします。そして、今後とも卓越した見識と豊富な経験を生かされ、なお一層のご尽力を賜りますとともに、市政各般にわたりましてご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

笠岡市長 高木 直矢



人権擁護活動に貢献  
安田 義章 さん  
（神島）

昭和58年に人権擁護委員に委嘱され、22年の長きにわたり基本的人権の擁護のため、啓発活動や相談業務に熱心に取り組まれ、岡山県子どもの人権専門委員として「子どもの110番事業」にも尽力された。豊富な経験と僧職という専門性を生かした人権擁護活動は、法務省からも高く評価され、市民の模範となるものである。人望も厚く、笠岡人権擁護委員協議会の会長及び岡山県人権擁護委員連合会の副会長を歴任され、人権擁護委員としての功績は顕著である。

また、昭和61年から18年間にわたり民生委員児童委員として社会福祉活動に尽力され、地域の信頼も厚くその功績は大きい。